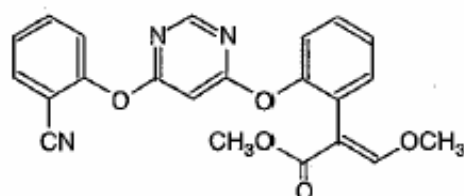


アゾキシストロビン (案)

1. 品目名：アゾキシストロビン (Azoxystrobin)
2. 用途：殺菌剤
ストロビルリン系殺菌剤である。エネルギー生成に重要な役割を果たしているミトコンドリアの電子伝達系の中のコハク酸-CoQリダクターゼ間の電子伝達を阻害することにより作用すると考えられる。
3. 化学名：メチル= (E) -2- {2- [6- (2-シアノフェノキシ) ピリミジン-4-イルオキシ] フェニル} -3-メトキシアクリラート
4. 構造式及び物性



分子式	$C_{22}H_{17}N_3O_5$
分子量	403.4
水溶解度	6.0 mg/L (20°C)
分配係数	logPow=2.5 (20°C)

(メーカー提出資料より)

5. 適用病害虫の範囲及び使用方法
本薬の適用病害虫の範囲及び使用方法は以下のとおり。

作物名となっているものについては、今回農薬取締法（昭和 23 年法律第 82 号）に基づく適用拡大申請がなされたものを示している。

また、申請者から、「国外で使用される農薬等に係る残留基準の設定及び改正に関する指針について」（平成 16 年 2 月 5 日付け食安発第 0205001 号）に基づき、コーヒー豆に設定されている残留基準の変更が要請されている。

(1) 国内における使用方法

①20.0%アゾキシストロビン水和剤（フロアブル）

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方 法	アゾキシストロビン を含む農薬の 総使用回数
小麦	紅色雪腐病	原液	4～8mL/ 乾燥種子 1kg	は種前	1回	種子吹き 付け処理	4回以内 (種子への処 理は1回以 内、は種後は 3回以内)
	うどんこ病 赤かび病 赤さび病	2000～ 3000倍	100～200 L/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	
だいず	紫斑病		100～400 L/10a				収穫21日前まで
		16～ 24倍	800mL/10a				
	腐敗粒 べと病	2000倍	100～400 L/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	
あずき	炭疽病		60～200 L/10a				3回以内
いんげんまめ	炭疽病	2000倍	60～200 L/10a	1回	散布	3回以内	
エンダイブ	菌核病					1回	1回
きゅうり	うどんこ病 べと病	1500～ 2000倍	100～ 400L/10a	収穫21日前まで	1回		
	灰色かび病 菌核病	1500倍					
にがうり	うどんこ病 べと病、炭疽病	2000倍	100～ 400L/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内
	うどんこ病 つる枯れ病 べと病、炭疽病	1500～ 2000倍					
メロン	うどんこ病 つる枯れ病 べと病	2000倍	100～ 400L/10a	収穫7日前まで	4回以内	散布	4回以内

①20.0%アゾキシストロビン水和剤（フロアブル）（つづき）

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方 法	アゾキシストロビン を含む農薬の 総使用回数					
すいか	つる枯病 炭疽病	2000 倍	100～400 L/10a	収穫前日まで	4 回以内	散布	4 回以内					
トマト	葉かび病 灰色かび病											
なす	うどんこ病 すすかび病											
ピーマン	灰色かび病											
たまねぎ	灰色腐敗病 べと病											
らっきょう	さび病							3 回以内				
ねぎ	さび病							4 回以内				
わけぎ	べと病											
あさつき	黄斑病、黒班病							収穫 3 日前まで				
にら	白斑葉枯病							収穫 14 日前まで	2 回以内			
にんにく	さび病							収穫 7 日前まで	3 回以内			
だいこん	白さび病							収穫 14 日前まで				
キャベツ	菌核病							収穫 7 日前まで	4 回以内			
はくさい	べと病 黒斑病 白さび病											
パセリ	うどんこ病							収穫 45 日前まで	1 回			
みつば	灰色かび病							収穫 14 日前まで				
みょうが (花穂)	紋枯病							3L/m ²	収穫 3 日前まで	2 回以内	土壌灌注	2 回以内
みょうが (茎葉)									みょうが(花穂)の 収穫 3 日前まで 但し、花穂を収穫し ない場合にあつては 開花期終了まで			
非結球 あぶらな科 葉菜類 (ただし、し ろな、チンゲ ンサイを除く)	白さび病		100～400 L/10a	収穫 21 日前まで		散布						

①20.0%アゾキシストロビン水和剤（フロアブル）（つづき）

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方 法	アゾキシストロビン を含む農薬の 総使用回数		
しろな	白さび病	2000 倍	100～400 L/10a	収穫 14 日前まで	1 回	散布	1 回		
しそ	斑点病			収穫前日まで	2 回以内	株元散布	2 回以内		
クレソン				収穫 21 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内		
葉ごぼう	うどんこ病			1 回	4 回以内		1 回		
こおにたびらこ	菌核病							収穫 30 日前まで	4 回以内
ははこぐさ				葉枯病	4 回以内		4 回以内	4 回以内 (土壌灌注は2 回以内)	
せり	菌核病			3L/m ²		収穫 7 日前まで			4 回以内
レタス	灰色かび病		収穫 30 日前まで		2 回以内	土壌灌注			
	ビッグベイン病								
いちご	うどんこ病	1500～ 2000 倍	100～400 L/10a	収穫前日まで	苗床 4 回以内	散布	7 回以内 (苗床では 4 回以内、本圃 では 3 回以 内)		
	炭疽病	2000 倍							
	灰色かび病	1500 倍							
	うどんこ病	1500～ 2000 倍			本圃 3 回以内				
	炭疽病	2000 倍							
	灰色かび病	1500 倍							
アスパラガス	茎枯病 斑点病 褐斑病	2000 倍		100～400 L/10a	収穫前日まで		4 回以内	4 回以内	
ズッキーニ	うどんこ病								
畑ワサビ (花穂を除く)	白さび病						2 回以内		2 回以内
かぶ	うどんこ病								
オクラ	うどんこ病				2 回以内		2 回以内		
さやえんどう 実えんどう	灰色かび病								
てんさい	根腐病		1500～ 2000 倍		100～400 L/10a	収穫 14 日前まで	3 回以内	3 回以内	
	葉腐病、褐斑病		1500 倍						
茶	炭疽病、輪斑病 新梢枯死病（輪 斑病菌による）、もち病	2000 倍		摘採 14 日前まで					

②10.0%アゾキシストロビン水和剤（フロアブル）

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方 法	アゾキシストロビン を含む農薬の 総使用回数		
なし	黒星病 黒斑病 輪斑病 うどんこ病 炭疽病	1000 倍	200～700 L/10a	収穫前日まで	5 回以内	散布	5 回以内		
ぶどう	黒とう病 灰色かび病 べと病 枝膨病 晩腐病 褐斑病 さび病			収穫 45 日前まで	3 回以内				
おうとう	灰星病			収穫前日まで					
もも	灰星病								
ネクタリン	黒星病								
いちじく	そうか病 疫病								
すもも	灰星病 すす点病								
うめ	黒星病	1500 倍		1000 倍	収穫 7 日前まで			3 回以内	
パッションフルーツ	円斑病								
かき	うどんこ病 落葉病 炭疽病 黒点病								
りんご (ふじ、王林、 ジョナゴールド、 つがる、千秋、 さんさ、紅玉、 シナノスイート、 昂林、涼香の季節)	うどんこ病	収穫 45 日前まで							
びわ	炭疽病	収穫 7 日前まで							

②10.0%アゾキシストロビン水和剤（フロアブル）（つづき）

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方 法	アゾキシストロビン を含む農薬の 総使用回数
マンゴー	炭疽病	1000 倍	200～700 L/10a	収穫前日まで	1 回	散布	1 回
グアバ(果実)				収穫 7 日前まで	3 回以内		3 回以内
ピタヤ	炭腐病			収穫前日まで			

③8.0%アゾキシストロビン水和剤

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方 法	アゾキシストロビン を含む農薬の 総使用回数		
稲	いもち病 紋枯病 穂枯れ (ごま葉枯病菌)	1000～ 1500 倍	100～200 L/10a	収穫 14 日前まで	3 回以内	散布	4 回以内 (育苗箱散布 は 1 回以内、 本田では 3 回以内)		
	稲こうじ病 穂枯れ (すじ葉枯病菌)	1000 倍							
	変色米 (カーブラリア菌)								
	変色米 (エピコッカム菌)								
	変色米 (アルタナリア菌)								
	いもち病 紋枯病	原液	120～150 mL/10a			空中散布			
8 倍		800mL/10a							
30 倍		3L/10a							
8 倍		800mL/10a	無人 ヘリコプター による散布						
300 倍		25L/10a	散布						

④1.5%アゾキシストロビン粒剤

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方 法	アゾキシストロビン を含む農薬の 総使用回数
稲	紋枯病	4kg/10a	出穂 10～30 日前	3 回以内	散布	4 回以内 (本田では 3 回以内)

⑤0.6%アゾキシストロビン粉剤

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方 法	アゾキシストロビン を含む農薬の 総使用回数
稲	紋枯病 穂枯れ (ごま葉枯病菌)	4kg/10a	収穫 14 日前まで	3 回以内	散布	4 回以内 (本田では 3 回以内)

⑥4.8%アゾキシストロビン・40.0%TPN水和剤 (フロアブル)

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方 法	アゾキシ ストロビ ンを含む 農薬の総 使用回数	TPNを 含む農薬 の総使用 回数
きゅうり	べと病 うどんこ病 褐斑病 炭疽病 灰色かび病 菌核病 黒星病	1000 倍	100～400 L/10a	収穫前日まで	4 回以内	散布	4 回以内	10 回以内 (土壌灌注は 2 回以内、 散布及びく ん煙及びエ アゾル剤の 噴射は合計 8 回以内)
かぼちゃ	うどんこ病 べと病			収穫 7 日前まで	3 回以内			3 回以内
メロン	べと病 うどんこ病 つる枯病			収穫 3 日前まで	4 回以内			5 回以内

⑥4.8%アズキシストロビン・40.0%TPN水和剤（フロアブル）（つづき）

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	アズキシ ストロビ ンを含む 農薬の総 使用回数	TPNを 含む農薬 の総使用 回数	
すいか	炭疽病 つる枯病	1000 倍	100～400 L/10a	収穫 3 日前まで	4 回以内	散布	4 回以内	5 回以内	
トマト	疫病 葉かび病			収穫前日まで				4 回以内	4 回以内 (土壌灌注は 2 回以内)
なす	すすかび病 うどんこ病 褐色腐敗病 黒枯病								4 回以内
はくさい	べと病 白斑病 黒斑病			収穫 7 日前まで	2 回以内			3 回以内 (は種又は 定植前の土 壌混和は 1 回以内、散 布は 2 回以内)	
だいこん	白さび病			収穫 45 日前まで	3 回以内			3 回以内	3 回以内
にんじん	黒葉枯病			収穫 21 日前まで	2 回以内			2 回以内	5 回以内 (種子への 吹き付け処 理は 1 回以 内)
たまねぎ	灰色かび病 べと病			収穫 7 日前まで	4 回以内			4 回以内	6 回以内
ねぎ	べと病 さび病 黒斑病			収穫 14 日前まで	2 回以内				3 回以内 (土壌灌注は 2 回以内、 散布は 2 回以内)
にんにく	さび病			収穫 7 日前まで	3 回以内			3 回以内	6 回以内

(2) ブラジルにおける使用方法

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法
コーヒー	褐眼病 さび病	0.05kg/ha	収穫 21 日前まで	4 回以内	散布
	褐眼病 さび病 <i>Phoma</i> <i>costarricensis</i>				土壌灌 注

6. 作物残留試験結果

(1) 分析の概要

① 分析対象の化合物

アゾキシストロビン

② 分析法の概要

試料をアセトンで抽出後、多孔性けいそう土カラムクロマトグラフィー、ヘキサン・アセトニトリルで分配し、フロリジルカラムクロマトグラフィー及びシリカゲルカラムクロマトグラフィーで精製し、高速液体クロマトグラフィーで定量する。

検出限界 0.003~0.5ppm。

(2) 作物残留試験結果

① 稲

稲（玄米）を用いた作物残留試験(2 例)において、6%粒剤を 50g/箱（箱施用）、及び 1.5%粒剤を計 3 回散布（4kg/10a）したところ、散布後 35~50 日の最大残留量^{注1)}は<0.01, <0.01 ppmであった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

稲（玄米）を用いた作物残留試験(2 例)において、6%粒剤を 50g/箱（箱施用）、及び 0.6%粒剤を計 3 回散布（4kg/10a）したところ、散布後 14~28 日の最大残留量は 0.01, 0.02 ppmであった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

稲（玄米）を用いた作物残留試験(2 例)において、6%粒剤を 50g/箱（箱施用）、及び 8%フロアブルの 1,000 倍希釈液を計 3 回散布（150L/10a）したところ、散布後 13^{注2)}~28 日の最大残留量は 0.04, 0.02 ppmであった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

稲（玄米）を用いた作物残留試験(2 例)において、6%粒剤を 50g/箱（箱施用）、及び 8%フロアブルの 1,000 倍希釈液を計 3 回散布（150L/10a）したところ、散布後 14 日の最大残留量は 0.03, 0.04 ppmであった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

稲（玄米）を用いた作物残留試験(2例)において、6%粒剤を 50g/箱（箱施用）、及び 8%フロアブルの 8 倍希釈液を計 3 回無人ヘリ散布 (800mL/10a) したところ、散布後 14 日の最大残留量は <0.01, 0.02 ppm であった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

稲（玄米）を用いた作物残留試験(2例)において、6%粒剤を 50g/箱（箱施用）、及び 20%フロアブルの 500 倍希釈液を計 3 回散布 (25L/10a) したところ、散布後 14~21 日の最大残留量は 0.02, 0.02 ppm であった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

稲（稲わら）を用いた作物残留試験(2例)において、6%粒剤を 50g/箱（箱施用）、及び 1.5%粒剤を計 3 回散布 (4kg/10a) したところ、散布後 35~50 日の最大残留量は 0.84, 0.99 ppm であった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

稲（稲わら）を用いた作物残留試験(2例)において、6%粒剤を 50g/箱（箱施用）、及び 0.6%粒剤を計 3 回散布 (4kg/10a) したところ、散布後 14~28 日の最大残留量は 1.14, 0.54 ppm であった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

稲（稲わら）を用いた作物残留試験(2例)において、6%粒剤を 50g/箱（箱施用）、及び 8%フロアブルの 1,000 倍希釈液を計 3 回散布 (150L/10a) したところ、散布後 13^{注2)}~28 日の最大残留量は 0.54, 0.94 ppm であった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

稲（稲わら）を用いた作物残留試験(2例)において、6%粒剤を 50g/箱（箱施用）、及び 8%フロアブルの 1,000 倍希釈液を計 3 回散布 (150L/10a) したところ、散布後 14 日の最大残留量は 0.52, 0.94 ppm であった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

稲（稲わら）を用いた作物残留試験(2例)において、6%粒剤を 50g/箱（箱施用）、及び 8%フロアブルの 8 倍希釈液を計 3 回無人ヘリ散布 (800mL/10a) したところ、散布後 14 日の最大残留量は 0.64, 1.64 ppm であった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

稲（稲わら）を用いた作物残留試験(2例)において、6%粒剤を 50g/箱（箱施用）、及び 20%フロアブルの 500 倍希釈液を計 3 回散布 (25L/10a) したところ、散布後 14~21 日の最大残留量は 2.32, 1.07 ppm であった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

②小麦

小麦（種子）を用いた作物残留試験(2例)において、20%フロアブルの原液を 8mL/kg（種子処理）、並びに 800 倍希釈液（根雪前）及び 2,000 倍希釈液を計 3 回散布（いずれも 100L/10a）したところ、散布後 7~21 日の最大残留量は 0.02, 0.10 ppm であった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

③だいず

だいず(乾燥子実)を用いた作物残留試験(2例)において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計3回散布(200~250L/10a)したところ、散布後7~21日の最大残留量は0.02, 0.01 ppmであった。

だいず(乾燥子実)を用いた作物残留試験(2例)において、20%フロアブルの8倍希釈液を計2回無人ヘリ散布(800mL/10a)したところ、散布後21日の最大残留量は<0.01, 0.01 ppmであった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

④あずき

あずき(乾燥子実)を用いた作物残留試験(2例)において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計3回散布(120L/10a)したところ、散布後7~21日の最大残留量は0.01, 0.01 ppmであった。

⑤いんげんまめ

いんげんまめ(乾燥子実)を用いた作物残留試験(2例)において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計3回散布(150~300L/10a)したところ、散布後160~175日の最大残留量は<0.01, <0.01 ppmであった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

⑥てんさい

てんさい(根部)を用いた作物残留試験(2例)において、20%フロアブルの1,500倍希釈液を計3回散布(200L/10a)したところ、散布後14~30日の最大残留量は<0.01, <0.01 ppmであった。

てんさい(根部)を用いた作物残留試験(2例)において、17%フロアブルの1,000倍希釈液を計3回散布(150L/10a)したところ、散布後14~28日の最大残留量は<0.01, <0.01 ppmであった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

⑦だいこん

だいこん(根部)を用いた作物残留試験(2例)において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計3回散布(107~250L/10a)したところ、散布後14~28日の最大残留量は<0.01, <0.01 ppmであった。

だいこん(葉部)を用いた作物残留試験(2例)において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計3回散布(107~250L/10a)したところ、散布後14~28日の最大残留量は0.44, 0.14 ppmであった。

⑧かぶ

かぶ(茎葉)を用いた作物残留試験(2例)において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布(200L/10a)したところ、散布後7~21日の最大残留量は2.36, 8.64 ppmであった。

かぶ（根茎）を用いた作物残留試験(2例)において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布(200L/10a)したところ、散布後7~21日の最大残留量は0.02, 0.04 ppmであった。

⑨はくさい

はくさい（茎葉）を用いた作物残留試験(1例)において、20%フロアブルの原液を8mL/kg（吹付コーティング）、及び2,000倍希釈液を計4回散布(300L/10a)したところ、散布後7~21日の最大残留量は0.10 ppmであった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

はくさい（茎葉）を用いた作物残留試験(2例)において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布(200L/10a)したところ、散布後7~21日の最大残留量は0.06 ppmであった。

⑩キャベツ

キャベツ（葉球）を用いた作物残留試験(2例)において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計4回散布(200L/10a)したところ、散布後7~21日の最大残留量は0.08, <0.01 ppmであった。

⑪こまつな

こまつな（果実）を用いた作物残留試験(2例)において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布(214~400L/10a)したところ、散布後21日の最大残留量は<0.1, 2.5 ppmであった。

⑫大山そだち

大山そだち（茎葉）を用いた作物残留試験(2例)において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布(300L/10a)したところ、散布後21日の最大残留量は0.76, 2.19 ppmであった。

⑬サガミグリーン

サガミグリーン（茎葉）を用いた作物残留試験(2例)において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布(300L/10a)したところ、散布後21日の最大残留量は0.86, 0.92 ppmであった。

⑭しろな

しろな（茎葉）を用いた作物残留試験(2例)において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計1回散布(200L/10a)したところ、散布後14日の最大残留量は0.12, 2.34 ppmであった。

⑮畑わさび（花穂を除く）

畑わさび（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（300L/10a）したところ、散布後7～28日の最大残留量は5.86, 11.8 ppmであった。

畑わさび（根茎）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（300L/10a）したところ、散布後7～28日の最大残留量は0.82, 0.73 ppmであった。

⑯エンダイブ

エンダイブ（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計1回散布（200L/10a）したところ、散布後21～35日の最大残留量は<0.05, 1.18 ppmであった。

⑰レタス

レタス（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計4回散布（200～300L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は1.52, 2.94 ppmであった。

レタス（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を3000L/10a（土壌灌注）及び2,000倍希釈液を計2回茎葉散布（200～300L/10a）したところ、散布後7～14日の最大残留量は2.4, 2.5 ppmであった。

⑱たまねぎ

たまねぎ（鱗茎）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの1,500倍希釈液を計4回散布（200L/10a）したところ、散布後1～14日の最大残留量は0.02, <0.01 ppmであった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

⑲根深ねぎ

根深ねぎ（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計4回散布（180～300L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は0.96, 0.20 ppmであった。

⑳葉ねぎ

葉ねぎ（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計4回散布（300L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は1.42, 1.20 ppmであった。

㉑にんにく

にんにく（鱗茎）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計3回散布（300, 150L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は<0.01, <0.01 ppmであった。

②にら

にら（茎葉）を用いた作物残留試験(2例)において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布(150~200L/10a)したところ、散布後14日の最大残留量は1.10, 2.42 ppmであった。

③アスパラガス

アスパラガス(茎)を用いた作物残留試験(2例)において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布(250~300L/10a)したところ、散布後1~7日の最大残留量は0.83, 0.13 ppmであった。

④らっきょう

らっきょう(鱗茎)を用いた作物残留試験(2例)において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布(150L/10a)したところ、散布後3~14日の最大残留量は0.02, 0.02 ppmであった。

⑤にんじん

にんじん(根部)を用いた作物残留試験(2例)において、4.8%フロアブルの1,000倍希釈液を計2回散布(200~400L/10a)したところ、散布後21~28日の最大残留量は0.02, <0.01 ppmであった。

⑥パセリ

パセリ(茎葉)を用いた作物残留試験(2例)において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計1回散布(250L/10a)したところ、散布後45~60日の最大残留量は0.05, 0.33 ppmであった。

⑦みつば

みつば(茎葉)を用いた作物残留試験(2例)において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計1回散布(100L/10a)したところ、散布後14~21日の最大残留量は1.6, 1.7 ppmであった。

⑧トマト

トマト(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、20%フロアブルの1,500倍希釈液を計4回散布(300L/10a)したところ、散布後1~8日の最大残留量は0.40, 0.09 ppmであった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

⑨ピーマン

ピーマン(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計4回散布(200L/10a)したところ、散布後1~7日の最大残留量は1.18, 1.28 ppmであった。

③⑩ なす

なす（果実）を用いた作物残留試験(2例)において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計4回散布(300L/10a)したところ、散布後1~7日の最大残留量は0.26, 0.58 ppmであった。

③⑪ きゅうり

きゅうり（果実）を用いた作物残留試験(2例)において、20%フロアブルの1000倍希釈液を100mL/株（株元灌注）、及び1,500倍希釈液を計3回散布(150~300L/10a)したところ、散布後1~7日の最大残留量は0.20, 0.48 ppmであった。ただし、これらの試験は適用範囲内で行われていない。

③⑫ かぼちゃ

かぼちゃ（果実）を用いた作物残留試験(2例)において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計4回散布(293.3~300L/10a)したところ、散布後1~14日の最大残留量は0.3, 0.3 ppmであった。ただし、これらの試験は適用範囲内で行われていない。

③⑬ すいか

すいか（果実）を用いた作物残留試験(2例)において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計4回散布(168~300L/10a)したところ、散布後1~7日の最大残留量は0.01, <0.01 ppmであった。

③⑭ メロン

メロン（果実）を用いた作物残留試験(2例)において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計4回散布(300L/10a)したところ、散布後1~7日の最大残留量は<0.01, <0.01 ppmであった。

③⑮ オクラ

オクラ（茎葉）を用いた作物残留試験(2例)において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布(180~250L/10a)したところ、散布後1~7日の最大残留量は1.22, 1.06 ppmであった。

③⑯ さやえんどう

さやえんどう（さや）を用いた作物残留試験(2例)において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計3回散布(200L/10a)したところ、散布後1~7日の最大残留量は0.28, 1.30 ppmであった。

③⑰ みょうが

みょうが（花穂）を用いた作物残留試験(2例)において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計4回散布(3000L/10a)したところ、散布後3~14日の最大残留量は

0.50, 0.34 ppm であった。ただし、これらの試験は適用範囲内で行われていない。

⑳ りんご

りんご（果実）を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの1,000倍希釈液を計5回散布(500L/10a)したところ、散布後42日の最大の残留量は0.23, 0.03 ppm であった。ただし、これらの試験は適用範囲内で行われていない。

㉑ 日本なし

日本なし（果実）を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの1,000倍希釈液を計5回散布(500L/10a)したところ、散布後14~42日の最大残留量は0.60, 0.36 ppm であった。

日本なし（果実）を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの1,000倍希釈液を計5回散布(500L/10a)したところ、散布後1~7日の最大残留量は0.68, 0.35 ppm であった。

㉒ もも

もも（果実）を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの1,000倍希釈液を計3回散布(500L/10a)したところ、散布後1~7日の最大残留量は<0.01, 0.01 ppm であった。

もも（果皮）を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの1,000倍希釈液を計3回散布(500L/10a)したところ、散布後1~7日の最大残留量は2.57, 6.42 ppm であった。

㉓ ネクタリン

ネクタリン(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの1,000倍希釈液を計3回散布(400L/10a)したところ、散布後1~14日の最大残留量は0.5, 1.4 ppm であった。

㉔ すもも

すもも（果実）を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの1,000倍希釈液を計3回散布(300~400L/10a)したところ、散布後1~14日の最大残留量は0.12, 0.09 ppm であった。

㉕ おうとう

おうとう（果実）を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの1,000倍希釈液を計3回散布(300~400L/10a)したところ、散布後1~14日の最大残留量は1.30, 0.47 ppm であった。

㉖ いちご

いちご（果実）を用いた作物残留試験(1例)において、20%フロアブルの1,500

～2,000倍希釈液を計5回散布(300L/10a)及び1,000倍希釈液を計3回土壌灌注(100mL/株)したところ、散布後1～7日の最大残留量は1.20ppmであった。ただし、これらの試験は適用範囲内で行われていない。

いちご(果実)を用いた作物残留試験(1例)において、20%フロアブルの1,500～2,000倍希釈液を計8回散布(300L/10a)したところ、散布後1～8日の最大残留量は1.18ppmであった。ただし、これらの試験は適用範囲内で行われていない。

④5ぶどう

ぶどう(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの100倍希釈液を300～500L/10a(休眠期散布)及び1,000倍希釈液を計3回散布(500L/10a)したところ、散布後45～75日の最大残留量は4.22, 1.68ppmであった。ただし、これらの試験は適用範囲内で行われていない。

④6かき

かき(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの1,000倍希釈液を計3回散布(300, 400L/10a)したところ、散布後7～21日の最大残留量は0.05, 0.36ppmであった。

④7パッションフルーツ

パッションフルーツ(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの1,000倍希釈液を計3回散布(300L/10a)したところ、散布後1～7日の最大残留量は0.33, 0.30ppmであった。

④8いちじく

いちじく(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの1,000倍希釈液を計3回散布(230～300L/10a)したところ、散布後1～14日の最大残留量は0.25, 0.57ppmであった。

④9茶

茶(荒茶)を用いた作物残留試験(4例)において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計3回散布(200L/10a)したところ、散布後14～21日の最大残留量は4.75, 2.62, 0.80, 3.46ppmであった。

茶(浸出液)を用いた作物残留試験(4例)において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計3回散布(200L/10a)したところ、散布後14～21日の最大残留量は2.50, 1.34, 0.42, 1.28ppmであった。

④0びわ

びわ(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの1,000倍希釈液を計3回散布(400L/10a)したところ、散布後7～21日の最大残留量は0.017, 0.008ppmであった。

⑤① うめ

うめ（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの1,500倍希釈液を計3回散布（250～300L/10a）したところ、散布後1～14日の最大残留量は0.6, 0.7 ppmであった。

⑤② わけぎ

わけぎ（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計4回散布（150～400L/10a）したところ、散布後7～14日の最大残留量は0.1, 0.4 ppmであった。

⑤③ あさつき

あさつき（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計4回散布（150～200L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は1.5, 0.8 ppmであった。

⑤④ シソ

シソ（葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回株元散布（200L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は0.11, 0.04 ppmであった。

⑤⑤ せり

せり（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計4回散布（200L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は0.7, 0.8 ppmであった。

⑤⑥ マンゴー

マンゴー（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの1,000倍希釈液を計1回散布（200L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は0.4, 0.5 ppmであった。

⑤⑦ クレソン

クレソン（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計3回散布（150L/10a）したところ、散布後21日の最大残留量は<0.20, 0.26 ppmであった。

⑤⑧ 葉ごぼう

葉ごぼう（植物体全体）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計1回散布（200L/10a）したところ、散布後21～28日の最大残留量は2.2, 1.6 ppmであった。

⑤⑨ ホトケノザ

ホトケノザ(茎葉)を用いた作物残留試験(1例)において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計1回散布(150L/10a)したところ、散布後30~60日の最大残留量は0.86 ppmであった。

⑥⑩ ゴギョウ

ゴギョウ(茎葉)を用いた作物残留試験(2例)において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計1回散布(150L/10a)したところ、散布後30~60日の最大残留量は0.36 ppmであった。

⑥⑪ みずな

みずな(茎葉)を用いた作物残留試験(2例)において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布(265~391L/10a)したところ、散布後21日の最大残留量は0.4, 2.4 ppmであった。

⑥⑫ ズッキーニ

ズッキーニ(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を計4回散布(250L/10a)したところ、散布後1~7日の最大残留量は0.2, 0.2 ppmであった。

⑥⑬ グァバ

グァバ(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの1,000倍希釈液を計3回散布(139L/10a)したところ、散布後7~21日の最大残留量は0.03, 0.08 ppmであった。ただし、これらの試験は適用範囲内で行われていない。

⑥⑭ ピタヤ

ピタヤ(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの1,000倍希釈液を計3回散布(188L/10a)したところ、散布後1~14日の最大残留量は1.38, 0.26 ppmであった。ただし、これらの試験は適用範囲内で行われていない。

これらの試験結果の概要については、別紙1-1を参照。

また、海外で実施された作物残留試験成績の結果の概要については、別紙1-2を参照。

注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験(いわゆる最大使用条件下の作物残留試験)を実施し、それぞれの試験から得られた残留量。

(参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に関する意見具申」)

注2) 経過日数13日の試験については、本来最大使用条件下として定められた14日の試験成績の誤差範囲内とみなし、当該試験成績を暴露評価の対象としている。

7. 乳牛における残留試験

乳牛に対してアゾキシストロビン 0、5、25、75、250ppm を含有する濃厚飼料(20kg/day) を牧草と共に 27～30 日間にわたり摂食させ (それぞれ 0、100、500、1500、5000mg/頭/day に相当)、牛乳、皮下脂肪、腹腔内脂肪、胸筋、大腿部の内転筋、肝臓及び腎臓に含まれるアゾキシストロビン含量を測定したところ、下記のとおりであった。なお、牛乳については、投与開始後 1、3、5、7、12、14、17、21、26、29、30、31 日目に搾乳したものを測定した。(検出限界：牛乳 0.001ppm、牛乳以外 0.01ppm)

上記の結果に関連して、米国では肉牛、乳牛及び豚における最大理論的飼料由来負荷 (MTDDDB) はそれぞれ 74ppm、106ppm、10ppm と評価している。また、オーストラリアにおいては家畜へのMTDDDBを 20.3ppm と評価している。

表. 組織中の最大残留 (ppm)

	5ppm 投与群	25ppm 投与群	75ppm 投与群	250ppm 投与群
大腿部内転筋	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
胸筋	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
肝臓	<0.01	0.01	0.05	0.07
腎臓	<0.01	<0.01	0.01	0.02
腹腔内脂肪	<0.01	<0.01	0.03	0.03
皮下脂肪	<0.01	<0.01	0.02	0.02
牛乳	0.003	0.006	0.004	0.009

8. 産卵鶏における残留試験

産卵鶏に対してアゾキシストロビン 0、6、18、60ppm (0、0.72、2.16、7.2mg/鶏/day) を含有する飼料を 28 日間にわたり摂食させ、筋肉、肝臓及び脂肪中のアゾキシストロビン含量を測定したところ最高投与群においていずれも<0.01ppmであった。また、鶏卵についても投与開始後 1、3、7、10、14、18、21、25、28 日に採卵し分析したところ、最高投与群においていずれも<0.01ppmであった。

上記の結果に関連して、米国ではMTDDDBは 7ppm として、オーストラリアでは 0.003ppm と評価している。

9. ADI の評価

食品安全基本法 (平成 15 年法律第 48 号) 第 24 条第 1 項第 1 号の規定に基づき、平成 16 年 11 月 30 日付厚生労働省発食安第 1130001 号及び同法第 24 条第 2 項の規定に基づき、平成 18 年 7 月 18 日付厚生労働省発食安第 0718005 号により食品安全委員会あて意見を求めたアゾキシストロビンに係る食品健康影響評価について、以下のとおり評価されている。

無毒性量：18.2 mg/kg 体重/day

(動物種) ラット

(投与方法) 混餌投与

(試験の種類/期間) 慢性毒性/発がん性併合試験/2年間

安全係数：100

ADI：0.18 mg/kg 体重/day

10. 諸外国における状況

JMPR における毒性評価はなされておらず、国際基準も設定されていない。

米国、カナダ、欧州連合 (EU)、オーストラリア及びニュージーランドについて調査した結果、米国 (アスパラガス、大麦等)、オーストラリア (アボカド、バナナ等)、ニュージーランド (大豆、ぶどう等)、カナダ (ぶどう、なたね等) 及び EU (ラズベリー、にんじん等) において基準値が設定されている。

11. 基準値案

(1) 残留の規制対象

アゾキシストロビン本体

海外の作物残留試験においてメチル= (Z) -2- {2- [6- (2-シアノフェノキシ) ピリミジン-4-イルオキシ] フェニル} -3-メトキシアクリラート (以下、「Z体」という。) が検出されており、米国等においてZ体も含めて規制を行っているが、海外の作物残留試験成績のうち大部分がアゾキシストロビンの10%未満にとどまっていること及び国内の作物残留試験においてZ体について分析を行った試験 (10 試験) においては、いずれも検出限界未満 (0.01ppm) であることから、Z体については規制対象として含めないこととする。

なお、食品安全委員会によって作成された農薬評価書においては、暴露評価対象物質としてアゾキシストロビンを設定している。

(2) 基準値案

別紙2のとおりである。

別紙2中でさとうきび及びカカオ豆については、現行0.02ppmの基準値を設定しているが、これは、本来、食品衛生法第11条第3項の規定に基づき、「人の健康を損なうおそれのない量として厚生労働大臣が薬事・食品衛生審議会の意見を聴いて定める量」 (一律基準) である0.01ppmで規制するところ、分析法の状況を考慮し、0.01ppmまでの分析が困難と考えられたことから0.02ppmの残留基準を設定したものである。今回、本剤については0.01ppmまでの分析が可能となったことから、0.02ppmの基準を削除し、一律基準 (0.01ppm) で規制することとした。

また、乳に対しては複数の海外基準を参考に一律基準 (0.01ppm) より低い基準である0.008ppmの基準値を設定したことに伴い、同じ畜水産物である魚介類及びはちみつ

に対して本来一律基準（0.01ppm）で規制するところ、0.008ppmの基準値を設定した。乳牛における残留試験の結果から、乳の基準値を見直すことに合わせ、これらの基準値についても検討を行い、魚介類及びはちみつについては一律基準で規制することとする。

（3）暴露評価

各食品について基準値案の上限まで又は作物残留試験成績等のデータから推定される量のアゾキシストロビンが残留していると仮定した場合、国民栄養調査結果に基づき試算される、1日当たり摂取する農薬の量（理論最大摂取量（TMD I））のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

なお、本暴露評価は、各食品分類において、加工・調理による残留農薬の増減が全くないとの仮定の下におこなった。

	理論最大摂取量（TMD I）／ADI（%） ^{注）}
国民平均	27.1
幼小児（1～6歳）	51.8
妊婦	20.7
高齢者（65歳以上）	29.2

注）TMD I 試算は、基準値案×摂取量の総和として計算している。

（4）本剤については、平成17年11月29日付け厚生労働省告示第499号により、食品一般の成分規格7に食品に残留する量の限度（暫定基準）が定められているが、今般、残留基準の見直しを行うことに伴い、暫定基準は削除される。

アゾキシストロビン作物残留試験一覧表

農作物	試験圃 場数	試験条件			経過日数	最大残留量 (ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数		
稲※ (玄米)	2	6%粒剤+ 1.5%粒剤	50g/箱 (箱施用) +4kg/10a 散布	4回	39, 41, 50日	圃場A:<0.01 (#) (4回、39日)
					35, 39, 46日	圃場B:<0.01 (#) (4回、35日)
稲※ (玄米)	2	6%粒剤+ 0.6%粒剤	50g/箱 (箱施用) +4kg/10a 散布	4回	14, 21, 28日	圃場A:0.01 (#) (4回、14日)
					14, 21, 28日	圃場B:0.02 (#) (4回、14日)
稲※ (玄米)	2	6%粒剤+ 8%フロアブル	50g/箱 (箱施用)+ 1,000倍散布 150L/10a	4回	13, 20, 27日	圃場A:0.04 (#) (4回、13日)
					14, 21, 28日	圃場B:0.02 (#) (4回、28日)
稲※ (玄米)	2	6%粒剤+ 8%フロアブル	50g/箱 (箱施用)+ 1,000倍散布 150L/10a	4回	14日	圃場A:0.03 (#) 圃場B:0.04 (#)
稲※ (玄米)	2	6%粒剤+ 8%フロアブル	50g/箱 (箱施用)+ 8倍無人へり散布 800mL/10a	4回	14日	圃場A:<0.01 (#) 圃場B:0.02 (#)
稲※ (玄米)	2	6%粒剤+ 20%フロアブル	50g/箱 (箱施用)+ 500倍散布 25L/10a	4回	14, 21日	圃場A:0.02 (#) (4回、14日) 圃場B:0.02 (#) (4回、21日)
稲 (稲わら)	2	6%粒剤+ 1.5%粒剤	50g/箱 (箱施用) +4kg/10a 散布	4回	39, 41, 50日	圃場A:0.84 (#) (4回、41日)
					35, 39, 46日	圃場B:0.99 (#) (4回、35日)
稲 (稲わら)	2	6%粒剤+ 0.6%粒剤	50g/箱 (箱施用) +4kg/10a 散布	4回	14, 21, 28日	圃場A:1.14 (#) (4回、14日)
					14, 21, 28日	圃場B:0.54 (#) (4回、14日)
稲 (稲わら)	2	6%粒剤+ 8%フロアブル	50g/箱 (箱施用)+ 1,000倍散布 150L/10a	4回	13, 20, 27日	圃場A:0.54 (#) (4回、20日)
					14, 21, 28日	圃場B:0.94 (#) (4回、14日)
稲 (稲わら)	2	6%粒剤+ 8%フロアブル	50g/箱 (箱施用)+ 1,000倍散布 150L/10a	4回	14日	圃場A:0.52 (#) 圃場B:0.94 (#)
稲 (稲わら)	2	6%粒剤+ 8%フロアブル	50g/箱 (箱施用)+ 8倍無人へり散布 800mL/10a	4回	14日	圃場A:0.64 (#) 圃場B:1.64 (#)
稲 (稲わら)	2	6%粒剤+ 20%フロアブル	50g/箱 (箱施用)+ 500倍散布 25L/10a	4回	14, 21日	圃場A:2.32 (#) (4回、14日) 圃場B:1.07 (#) (4回、14日)
小麦※ (種子)	2	20%フロアブル	原液 8mL/kg (種子処理) +800倍根雪前散布 100L/10a +2000倍散布 100L/10a	5回	7, 14, 21日	圃場A:0.02 (#) 圃場B:0.10 (#)
だいず (乾燥子実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200~250L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:0.02 圃場B:0.01
だいず (乾燥子実)	2	20%フロアブル	8倍無人へり散布 800mL/10a	2回	21日	圃場A:<0.01 (#) 圃場B:<0.01 (#)
あずき (乾燥子実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 120L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:0.01 圃場B:0.01 (3回、14日)
いんげんまめ (乾燥子実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150~300L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:<0.01 (#) 圃場B:<0.01 (#)
てんさい (根部)	2	20%フロアブル	1500倍散布 200L/10a	3回	14, 21, 30日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
てんさい (根部)	2	17%フロアブル	1000倍散布 150L/10a	3回	14, 21, 30日	圃場A:<0.01 (#) 圃場B:<0.01 (#)
だいこん (根部)	2	20%フロアブル	2000倍散布 107~250L/10a	3回	14, 21, 28日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
だいこん (葉部)	2	20%フロアブル	2000倍散布 107~250L/10a	3回	14, 21, 28日	圃場A:0.44 圃場B:0.14
かぶ※ (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:2.36 圃場B:8.64

農作物	試験圃 場数	試験条件				最大残留量 (ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
かぶ (根茎)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.02 圃場B:0.04(2回、14日)
はくさい (茎葉)	1	20%フロアブル	原液 8mL/kg (吹付コーティング) +2000倍散布 300L/10a	5回	7, 14, 21日	圃場A:0.10(＃)(5回、7日)
はくさい (茎葉)	1	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	4回	7, 14, 21日	圃場A:0.06
キャベツ (葉球)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	4回	7, 14, 21日	圃場A:0.08 圃場B:<0.01
こまつな (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 214~400L/10a	2回	21日	圃場A:<0.1 圃場B:2.5
大山そだち (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	21日	圃場A:0.76 圃場B:2.19
サガミグリーン (茎葉)	1	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	21日	圃場A:0.86 圃場B:0.92
しろな (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	1回	14日	圃場A:0.12 圃場B:2.34
畑わさび (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	7, 14, 28日	圃場A:5.86 圃場B:11.8
畑わさび (根茎)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	7, 14, 28日	圃場A:0.82(2回、14日) 圃場B:0.73
エンダイブ (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	1回	21, 28, 35日	圃場A:<0.05 圃場B:1.18
レタス (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200~300L/10a	4回	7, 14, 21日	圃場A:1.52 圃場B:2.94(4回、14日)
レタス (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍土壌灌注 3000L/10a+茎葉散布 200~300L/10a	4回	7, 14日 7, 13日	圃場A:2.4 圃場B:2.5
たまねぎ※ (鱗茎)	2	20%フロアブル	1500倍散布 200L/10a	4回	1, 7, 14日	圃場A:0.02(＃)(4回、1日) 圃場B:<0.01(＃)(4回、1日)
根深ねぎ (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 180~300L/10a	4回	3, 7, 14日	圃場A:0.96 圃場B:0.20
葉ねぎ (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 180~300L/10a	4回	3, 7, 14日	圃場A:1.42(4回、7日) 圃場B:1.20
にんにく (鱗茎)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300, 150L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
にら (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150~200L/10a	2回	14日	圃場A:1.10 圃場B:2.42
アスパラガス※ (茎)	2	20%フロアブル	2000倍散布 250~300L/10a	4回	1, 3, 7日 1, 3, 6日	圃場A:0.83 圃場B:0.13
らっきょう (鱗茎)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A:0.02(3回、7日) 圃場B:0.02
にんじん※ (根部)	2	4.8%フロアブル	1000倍散布 200~400L/10a	2回	21, 28日	圃場A:0.02 圃場B:<0.01
パセリ (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 250L/10a	1回	45, 60日	圃場A:0.05(1回、60日) 圃場B:0.33
みつば (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 100L/10a	1回	14, 21日	圃場A:1.6 圃場B:1.7

農作物	試験圃 場数	試験条件			最大残留量 (ppm)	
		剤型	使用量・使用方法	回数		経過日数
トマト※ (果実)	2	20%フロアブル	1500倍散布 300L/10a	4回	1, 3, 7日 1, 3, 8日	圃場A:0.40(＃)(4回、1日) 圃場B:0.09(＃)(4回、8日)
ピーマン (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A:1.18 圃場B:1.28
なす (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A:0.26 圃場B:0.58
きゅうり※ (果実)	2	20%フロアブル	1000倍株元灌注 100mL/株 +1500倍散布 150~300L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A:0.20(＃)(4回、1日) 圃場B:0.48(＃)(4回、1日)
かぼちゃ (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 293.3~300L/10a	4回	1, 7, 14日	圃場A:0.3 圃場B:0.3
すいか (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 168~300L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A:0.01(4回、7日) 圃場B:<0.01
メロン (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
オクラ (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 180~250L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:1.22 圃場B:1.06
さやえんどう (さや)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:0.28(3回、3日) 圃場B:1.30
みょうが (花穂)	2	20%フロアブル	2000倍散布 3000L/10a	4回	3, 7, 14日	圃場A:0.50(4回、3日)(＃) 圃場B:0.34(4回、3日)(＃)
りんご (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 500L/10a	5回	42日	圃場A:0.98(＃) 圃場B:0.14(＃)
日本なし (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 500L/10a	5回	14, 28, 42日	圃場A:0.60 圃場B:0.36
日本なし (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 500L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.68 圃場B:0.35
もも (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 500L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:<0.01 圃場B:0.01
もも (果皮)	2	10%フロアブル	1000倍散布 500L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:2.57 圃場B:6.42(3回、3日)
ネクタリン※ (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 400L/10a	3回	1, 3, 7日 1, 3, 7, 14日	圃場A:0.5(3回、3日) 圃場B:1.4
すもも (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 300~400L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:0.12 圃場B:0.09
おうとう※ (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 500L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:1.30(3回、3日) 圃場B:0.47
いちご (果実)	1	20%フロアブル	1500~2000倍散布 300L/10a +1000倍土壌灌注 100mL/株	8回	1, 3, 7日	圃場A:1.20(＃)(8回、1日)
いちご (果実)	1	20%フロアブル	1500~2000倍散布 300L/10a	8回	1, 4, 8日	圃場A:1.18(＃)(8回、1日)
ぶどう※ (果実)	2	10%フロアブル	100倍休眠期散布 300~ 500L/10a+1000倍散布 500L/10a	4回	45, 60, 75日 45, 59, 75日	圃場A:4.22(＃)(4回、45日) 圃場B:1.68(＃)(4回、45日)
かき※ (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 300, 400L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:0.05 圃場B:0.36

農作物	試験圃 場数	試験条件			最大残留量 (ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数 経過日数	
パッション フルーツ (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 300L/10a	3回 1, 3, 7日	圃場A:0.33 圃場B:0.30
いちじく (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 230~300L/10a	3回 1, 7, 14日	圃場A:0.25 圃場B:0.57
茶※ (荒茶)	4	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	3回 14, 21日	圃場A:4.75 圃場B:2.62 圃場C:0.80 圃場D:3.46
茶 (浸出液)	4	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	3回 14, 21日	圃場A:2.50 圃場B:1.34 圃場C:0.42 圃場D:1.28
びわ※ (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 400L/10a	3回 7, 14, 21日	圃場A:0.017 圃場B:0.008
うめ (果実)	2	10%フロアブル	1500倍散布 250~300L/10a	3回 1, 7, 14日	圃場A:0.6(3回、7日) 圃場B:0.7
わけぎ※ (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150~400L/10a	4回 7, 14日	圃場A:0.1 圃場B:0.4
あさつき (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150~200L/10a	4回 3, 7, 14日	圃場A:1.5 圃場B:0.8
シソ (葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回 1, 3, 7日	圃場A:0.10 圃場B:0.04
せり (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	4回 7, 14, 21日 7, 12, 20日	圃場A:0.7(4回、14日) 圃場B:0.8
マンゴー (果実)	2	10%フロアブル	100倍散布 200L/10a	1回 1, 3, 7日	圃場A:0.4 圃場B:0.5
クレソン (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150L/10a	3回 21日	圃場A:<0.20 圃場B:0.26
葉ごぼう (植物体全体)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	1回 21, 28日	圃場A:2.2 圃場B:1.6
ホトケノザ (茎葉)	1	20%フロアブル	2000倍散布 150L/10a	1回 30, 45, 60日	圃場A:0.86
ゴギョウ (茎葉)	1	20%フロアブル	2000倍散布 150L/10a	1回 30, 45, 60日	圃場A:0.36
みずな (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 265~391L/10a	2回 21日	圃場A:0.4 圃場B:2.4
ズッキーニ (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 250L/10a	4回 1, 3, 7日	圃場A:0.2 圃場B:0.2
グァバ※ (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 139L/10a	3回 14, 21日 7, 14, 21日	圃場A:0.03(＃)(3回、14日) 圃場B:0.08(＃)(3回、7日)
ピタヤ※ (果実)	2	10%フロアブル	100倍散布 188L/10a	3回 1, 7, 14日	圃場A:1.38(＃)(3回、1日) 圃場B:0.26(＃)(3回、1日)

(＃) これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。
(※) 印で示した作物については、申請の範囲内で最高の値を示した括弧内に示す条件において得られた値を採用し最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付している。
なお、食品安全委員会農業専門調査会の農業評価書「アズキシストロピン」に記載されている作物残留試験成績は、各試験条件における残留農薬の最高値及び各試験場、検査機関における最高値の平均値を示したものであり、上記の最大残留量の定義と異なっている。

アゾキシストロビン海外作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場	試験条件				最大残留量 (ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
稲 (籾米)	7	80%顆粒水和剤	224g ai/ha 散布 +336g ai/ha 散布	2+1回	28日	圃場A:0.30 圃場B:2.7 圃場C:2.2 圃場D:0.41 圃場E:0.19 圃場F:0.27 圃場G:0.82
小麦 (穀粒)	5	フロアブル (250g ai/L)	250g ai/ha 散布	3回	40日 48日 48日 48日 39日	圃場A:0.01 圃場B:0.03 圃場C:0.02 圃場D:0.02 圃場E:0.03
大麦 (穀粒)	3	フロアブル (250g ai/L)	250g ai/ha 散布	3回	38日 53日 55日	圃場A:0.23 圃場B:0.14 圃場C:0.07
とうもろこし (穀粒)	6	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	8回	7日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01 圃場C:<0.01 圃場D:0.02 圃場E:<0.01 圃場F:<0.01
大豆 (種子)	7	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	14日 15日 14日 16日 14日 14日 14日	圃場A:0.04 圃場B:0.12 圃場C:0.12 圃場D:0.07 圃場E:0.06 圃場F:0.06 圃場G:0.02
らっかせい (種子)	9	80%顆粒水和剤	448g ai/ha 散布	2回	14日 14日 14日 14日 14日 20日 14日 14日	圃場A:<0.01 圃場B:0.01 圃場C:0.01 圃場D:0.12 圃場E:0.01 圃場F:<0.01 圃場G:<0.01 圃場H:0.06 圃場I:0.01
ばれいしょ (根茎)	4	フロアブル (250g ai/L)	1500g ai/ha 土壌混和	1回	108日 118日 95日 116日	圃場A:0.01 圃場B:0.01 圃場C:0.01 圃場D:0.01
ばれいしょ (根茎)	4	フロアブル (250g ai/L)	750g ai/ha 畝間散布	1回	108日 118日 95日 116日	圃場A:0.01 圃場B:0.02 圃場C:0.01 圃場D:0.03

農作物	試験圃場	試験条件				最大残留量 (ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ばれいしょ (根茎)	14	80%顆粒水和剤	370g ai/ha 散布	6回	14日	圃場A:0.01 圃場B:<0.01 圃場C:0.01 圃場D:<0.01 圃場E:<0.01 圃場F:0.02 圃場G:<0.01 圃場H:<0.01 圃場I:<0.01 圃場J:<0.01 圃場K:<0.01 圃場L:<0.01 圃場M:<0.01 圃場N:<0.01
てんさい (根茎)	9	80%顆粒水和剤	370g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:0.03 圃場B:0.05 圃場C:0.18 圃場D:0.08 圃場E:0.04 圃場F:0.10 圃場G:0.11 圃場H:0.08 圃場I:0.05
ラディッシュ (根茎)	5	80%顆粒水和剤	370g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:0.41 圃場B:0.26 圃場C:0.14 圃場D:0.39 圃場E:0.11
ラディッシュ (葉)	5	80%顆粒水和剤	370g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:23.6 圃場B:31.4 圃場C:12.8 圃場D:9.9 圃場E:14.3
クレソン (茎葉)	5	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	3回 6回	7日	圃場A:0.117 圃場B:0.475 圃場C:0.511 圃場D:<0.0676 圃場E:1.32
キャベツ (葉) ※外葉あり	4	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:1.76 圃場B:0.90 圃場C:0.321 圃場D:1.99
キャベツ (葉)	4	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:0.176 圃場B:0.101 圃場C:0.0251 圃場D:0.174
芽キャベツ (茎葉)	3	フロアブル (250g ai/L)	250g ai/ha 散布	2回	14, 21日	圃場A:0.02 圃場B:0.04 圃場C:0.05

農作物	試験圃場	試験条件			経過日数	最大残留量 (ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数		
ケール (茎葉)	3	フロアブル (250g ai/L)	250g ai/ha 散布	2回	14, 21日 13, 21日	圃場A:0.08 圃場B:0.32 圃場C:0.31 (2回、21日)
マスタード (葉)	9	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布 135-280g ai/ha 散布	6回	0, 6日 0日 0日 0, 7日 0日 0, 7日 0, 6日 0日 0日	圃場A:4.81 圃場B:14.7 圃場C:4.36 圃場D:5.60 (6回、7日) 圃場E:12.2 圃場F:10.7 (6回、7日) 圃場G:21.0 圃場H:7.52 圃場I:7.19
ブロッコリー (花穂)	4	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0, 3, 7日 0日 0, 4, 6日 0日	圃場A:0.804 (6回、7日) 圃場B:1.29 圃場C:2.13 圃場D:0.187
カリフラワー (花穂)	4	フロアブル (250g ai/L)	250g ai/ha 散布	2回	14, 21日	圃場A:0.02 圃場B:0.06 圃場C:0.17 圃場D:0.15
アーティチョーク (葉)	3	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:1.6 圃場B:1.7 圃場C:2.3
レタス (葉)	8	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:2.49 圃場B:3.37 圃場C:3.43 圃場D:3.77 圃場E:2.47 圃場F:4.70 圃場G:3.39 圃場H:2.11
リーフレタス (葉)	8	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:6.1 圃場B:3.5 圃場C:4.4 圃場D:10.0 圃場E:8.2 圃場F:4.9 圃場G:13.5 圃場H:2.7
たまねぎ (鱗茎)	8	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:0.55 圃場B:0.20 圃場C:0.45 圃場D:0.30 圃場E:<0.01 圃場F:0.14 圃場G:0.28 圃場H:0.07
ねぎ (茎葉)	2	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:5.5 圃場B:1.4

農作物	試験圃場	試験条件				最大残留量 (ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ねぎ (茎葉)	4	80%顆粒水和剤	113g ai/ac 散布	6回	0日	圃場A:1.2 圃場B:1.4 圃場C:2.3 圃場D:0.58
ねぎ (茎葉)	4	22.8%フロアブル	113g ai/ac 散布	6回	0日	圃場A:1.0 圃場B:1.9 圃場C:2.0 圃場D:0.19
にんじん (根茎)	6	80%顆粒水和剤	370g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:0.17 圃場B:0.11 圃場C:0.23 圃場D:0.02 圃場E:0.29 圃場F:0.13
パセリ (茎葉)	2	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:19.7 圃場B:14.2
セルリー (根茎)	8	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:2.1 圃場B:3.8 圃場C:9.1 圃場D:3.2 圃場E:2.3 圃場F:4.6 圃場G:5.6 圃場H:2.2
きゅうり (果実)	7	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	1日	圃場A:0.08 圃場B:0.06 圃場C:0.05 圃場D:0.04 圃場E:0.09 圃場F:0.07 圃場G:0.05
サマースカッシュ (果実)	5	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	1日	圃場A:0.08 圃場B:0.10 圃場C:0.05 圃場D:0.05 圃場E:0.11
カンタローブ (果実)	6	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	1日	圃場A:0.17 圃場B:0.14 圃場C:0.10 圃場D:0.19 圃場E:0.25 圃場F:0.1
ほうれんそう (茎葉)	7	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	6日 0日 0日 6日 0日 0,7日 0日	圃場A:2.28(6回、6日) 圃場B:18.5 圃場C:8.25 圃場D:2.81(6回、6日) 圃場E:23.0 圃場F:13.6 圃場G:12.5

農作物	試験圃場	試験条件				最大残留量 (ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ほうれんそう (茎葉)	4	80%顆粒水和剤	113g ai/ac 散布	6回	0日	圃場A:16 圃場B:6.2 圃場C:10.1 圃場D:9.6
ほうれんそう (茎葉)	4	22.8%フロアブル	113g ai/ac 散布	6回	0日	圃場A:14 圃場B:5.0 圃場C:7.7 圃場D:12.0
未成熟豆類※ (莢付豆)	3	80%顆粒水和剤	13.9g ai/km 畝間 +280g ai/ha 散布	1+6回	0日	圃場A:0.38(1+6回、0日) (#) 圃場B:0.10(1+6回、0日) (#) 圃場C:1.0(1+6回、0日) (#)
多肉未成熟豆類※ (豆)	1	80%顆粒水和剤	13.9g ai/km 畝間 +280g ai/ha 散布	1+6回	0日	圃場A:0.02(1+6回、0日) (#)
レモン (果実)	3	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布 (水量60- 68gallon/acre)	6回	0日	圃場A:0.69 圃場B:0.63 圃場C:0.58
レモン (果実)	3	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布 (水量221-235 gallon/acre)	6回	0日	圃場A:0.42 圃場B:0.47 圃場C:0.27
オレンジ (果実)	4	80%顆粒水和剤	113g ai/ac 散布	6回	0日	圃場A:0.44 圃場B:0.28 圃場C:0.83 圃場D:0.56
オレンジ (果実)	4	フロアブル (208lb/gallon)	113g ai/ac 散布	6回	0日	圃場A:0.23 圃場B:0.35 圃場C:1.05 圃場D:0.72
グレープフルーツ (果実)	4	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布 (水量53- 67gallon/acre)	6回	0日	圃場A:0.18 圃場B:0.20 圃場C:0.18 圃場D:0.18
グレープフルーツ (果実)	3	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布 (水量217-242 gallon/acre)	6回	0日	圃場A:0.24 圃場B:0.24 圃場C:0.37
ラズベリー※ (果実)	2	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	7回 6回	0日 0日	圃場A:0.69 (7回、0日) (#) 圃場B:2.33
ブラックベリー※ (果実)	1	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	7回	0日	圃場A:2.87 (7回、0日) (#)
ブルーベリー※ (果実)	7	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	0日 0,7日	6回	圃場A:1.33 (6回、0日) (#) 圃場B:0.493 (6回、0日) (#) 圃場C:0.918 (6回、0日) (#) 圃場D:0.677 (6回、0日) (#) 圃場E:0.869 (6回、0日) (#) 圃場F:0.857 (6回、0日) (#) 圃場G:1.06 (6回、0日) (#)
クランベリー (果実)	4	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	3,14日 3,13日 3,15日 3,14日	圃場A:0.151 (6回、14日) 圃場B:0.257 圃場C:0.282 圃場D:0.181
バナナ (果実) (無袋)	6	80%顆粒水和剤	151g ai/ha 散布	8回	0日	圃場A:0.10 圃場B:0.18 圃場C:0.10 圃場D:0.21 圃場E:0.25 圃場F:0.15

農作物	試験圃場	試験条件				最大残留量 (ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
バナナ (果実) (袋詰)	6	80%顆粒水和剤	151g ai/ha 散布	8回	0日	圃場A:0.04 圃場B:0.01 圃場C:0.02 圃場D:0.05 圃場E:0.02 圃場F:0.13
マンゴー (果実)	3	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:0.243 圃場B:0.0686 圃場C:0.444
ライチ (果実)	2	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	5回	0日	圃場A:1.66 圃場B:0.231
パパイヤ (果実)	2	500g ai/kg	80g ai/ha 散布 160g ai/ha 散布	6回	0, 3, 7, 10, 14日	圃場A:0.16 (6回、0日) 圃場B:0.49 (6回、0日)
綿実 (種子)	12	80%顆粒水和剤	18.6g ai/km 畝間散布	1回	202日 180日 182, 217日 184, 237日 166日 163, 218日 161, 205日 182日 190日 207日 148, 198日 161, 215日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01 圃場C:<0.01 圃場D:<0.01 圃場E:<0.01 圃場F:<0.01 圃場G:<0.01 圃場H:<0.01 圃場I:<0.01 圃場J:<0.01 圃場K:<0.01 圃場L:<0.01
なたね (種子)	1	水和剤 (250g ai/L)	250g ai/L 散布	2回	21, 23日	圃場A:0.05
なたね (種子)	1	フルトリアフォル 水和剤	200g ai/L 散布	2回	21, 23日	圃場A:0.03
キャノーラ (種子)	2	80%顆粒水和剤	448g ai/ha 散布	1回	71日 65日	圃場A:<0.01 圃場B:0.01
アーモンド (種子)	5	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	29日 29日 29日 29日 28日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01 圃場C:<0.01 圃場D:<0.01 圃場E:<0.01
ピスタチオ (種子)	3	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	7日	圃場A:0.406 圃場B:0.354 圃場C:0.244
ホップ (新鮮穂軸)	2	フロアブル (250g ai/L)	250g ai/ha 散布	6回	28日 26日	圃場A:3.2 (6回、28日) (#) 圃場B:3.4 (6回、26日) (#)
ホップ※ (乾燥穂軸)	4	フロアブル (250g ai/L)	250g ai/ha 散布	6回	28日 26日	圃場A:12 (6回、28日) (#) 圃場B:10 (6回、28日) (#) 圃場C:15 (6回、26日) (#) 圃場D:9.3 (6回、26日) (#)

農作物	試験圃場	試験条件				最大残留量 (ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ディル (種子)	3	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:6.20 圃場B:17.4 圃場C:23.3
バジル (葉)	3	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回 5回 6回	0日	圃場A:46.3 圃場B:23.3 圃場C:19.3
ピーマン※ (果実)	5	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回 7回	0, 8日 0, 6日 0日 0, 7日 0日	圃場A:0.107 (6回、8日) (#) 圃場B:0.369 (6回、0日) (#) 圃場C:0.314 (6回、0日) (#) 圃場D:0.242 (6回、7日) (#) 圃場E:0.136 (7回、0日) (#)
とうがらし※ (果実)	4	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回 8回	0, 8日 0日 0日 0日	圃場A:0.834 (6回、0日) (#) 圃場B:0.499 (6回、0日) (#) 圃場C:0.059 (6回、0日) (#) 圃場D:0.915 (8回、0日) (#)
コーヒー豆※ (種子)	1	80%顆粒水和剤	50g ai/ha 散布	5回	21, 28, 35, 42日	圃場A:<0.01 (5回、21日) (#)

海外で実施された作物残留試験のうち、作物残留試験が実施された国の使用方法の範囲内で試験が行われていない試験成績等については記載していない。

ただし、作物名に「※」が記されている未成熟豆類、多肉未成熟豆類、ラズベリー、ブラックベリー、ブルーベリー、ホップ、ピーマン、とうがらし及びコーヒー豆の試験については作物残留試験が実施された国における使用方法の範囲外で実施されているものの、作物残留試験条件等を考慮し、基準値設定の際の参考とすることとした。

一部の作物残留試験については、各国政府の要請により記載していない。

最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付している。

なお、食品安全委員会農業専門調査会の農業評価書「アゾキシストロピン」に記載されている作物残留試験成績は、各試験条件における残留農薬の最高値及び各試験場、検査機関における最高値の平均値を示したものであり、上記の最大残留量の定義と異なっている。

農産物名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
米(玄米をいう)	0.2	5	○		5.0 アメカ	<0.01(#), <0.01(#), 0.01(#), 0.02(#), 0.04(#\$), 0.02(#), 0.03(#), 0.04(#), <0.01(#), 0.02(#), 0.02(#), 0.02(#) 【0.30, 2.7, 2.2, 0.41, 0.19, 0.27, 0.82】
小麦	0.5	0.5	○		0.3 EU	0.02(#), 0.10(#\$) 【0.01, 0.03, 0.02, 0.02, 0.03】
大麦	0.3	0.3			0.3 EU	
ライ麦	0.3	0.3			0.3 EU	
とうもろこし	0.05	0.1			0.05 アメカ	【<0.01, <0.01, 0.02, <0.01, <0.01, <0.01】
そば		0.1			0.2 NZ	
その他の穀類	0.3	0.3			0.3 EU	
大豆	0.5	0.5	○		0.5 アメカ	0.02, 0.01, <0.01(#), <0.01(#) 【0.04, 0.12, 0.02, 0.07, 0.06, 0.06, 0.02(大豆) <0.01, <0.01, <0.01, <0.01, <0.01, <0.01, <0.01, <0.01, <0.01, <0.01, 0.01(乾燥豆)】
小豆類(いんげん、ささげを含む※)	0.50	0.3	○		0.50 アメカ	0.01, 0.01, <0.01(#), <0.01(#) 【米国の大豆及び乾燥豆のデータを参照】
えんどう	0.50	0.3			0.50 アメカ	【米国の大豆及び乾燥豆のデータを参照】
そらまめ	0.50	0.3			0.50 アメカ	【米国の大豆及び乾燥豆のデータを参照】
らっかせい	0.2	0.01			0.2 アメカ	【<0.01, <0.01, 0.01, 0.01, 0.12, <0.01, <0.01, 0.06, 0.01】
その他の豆類	0.50	0.3			0.50 アメカ	【米国の大豆及び乾燥豆のデータを参照】
ばれいしょ	0.05	0.03			0.05 EU	【0.01, 0.01, 0.01, 0.01/0.01, 0.02, 0.01, 0.03/0.01, <0.01, 0.01, <0.01, <0.01, 0.02, <0.01, <0.01, <0.01, <0.01, <0.01, <0.01, <0.01, <0.01, <0.01】
さといも類(やつかしらを含む)	0.03	0.04			0.03 アメカ	【米国のじゃがいものデータを参照】
かんしょ	0.03	0.04			0.03 アメカ	【米国のじゃがいものデータを参照】
やまいも(長いもをいう)	0.03	0.04			0.03 アメカ	【米国のじゃがいものデータを参照】
こんにやくいも		0.05			0.05 EU	
その他のいも類	0.03	0.04			0.03 アメカ	【米国のじゃがいものデータを参照】
てんさい	0.5	0.1	○		0.5 アメカ	<0.01, <0.01, <0.01(#), <0.01(#) 【0.03, 0.05, 0.17, 0.08, 0.04, 0.10, 0.09, 0.08, 0.05】
さとうきび		0.02				
だいこん類(ラディッシュを含む)の根	0.5	0.3	○		0.5 アメカ	<0.01, <0.01 【0.41, 0.26, 0.14, 0.37, 0.11】 0.44, 0.14
だいこん類(ラディッシュを含む)の葉	50.0	5	○		50.0 アメカ	【23.6, 32.4, 12.8, 9.9, 14.3】
かぶ類の根	0.5	0.3	申		0.5 アメカ	0.02, 0.04
かぶ類の葉	15	5	申		25 アメカ	2.36, 8.64(\$)
西洋わさび	0.5	0.4			0.5 アメカ	【米国のだいこん類の根及びペンサイのデータを参照】
クレソン	3.0	5	○		3.0 アメカ	<0.20, 0.26 【0.117, 0.475, 0.511(\$), <0.0676, 1.32】
はくさい	3.0	0.5	○		3.0 アメカ	0.10(#), 0.06 【米国のキャベツとブロッコリーのデータを参照】
キャベツ	3.0	0.5	○		3.0 アメカ	0.08, <0.01 【0.176, 0.101, 0.0251, 0.174(外葉なし) 1.76, 0.90, 0.321, 1.99(外葉あり)】
芽キャベツ	3.0	5			3.0 アメカ	【0.02, 0.04, 0.05/ 【米国のキャベツとブロッコリーのデータを参照】
ケール	5	5			25 アメカ	【0.08, 0.32, 0.31】
こまつな	5	5	○		25 アメカ	<0.1, 2.5(\$)
きょうな	5	5			25 アメカ	0.4, 2.4(\$)
チンゲンサイ	5	5			25 アメカ	

農産物名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績 ppm	
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm		
カリフラワー ブロッコリー	3.0 3.0	5 5			3.0 3.0	アメリカ アメリカ	【0.02, 0.06, 0.17, 0.15/米国のキャベツとブロッコリーのデータを参照】 【0.804, 1.29, 2.13, 0.187】 0.12, 2.34(しろな) 0.76, 2.19(大山そだち) 0.86, 0.92(サガミグリーン) 0.82, 0.73(畑わさび) 【米国のレタス、リーフレタス、セロリ及びびほうれんそうのデータを参照】
その他のあぶらな科野菜	30.0	5	申・○		30.0	アメリカ	
ごぼう	0.5	0.3			0.5	アメリカ	【米国のだいこん類の根、テンサイ及びびんじんのデータを参照】
サルシフィー	0.5	0.4			0.5	アメリカ	【米国のだいこん類の根、テンサイ及びびんじんのデータを参照】
アーティチョーク	4.0	5			4.0	アメリカ	【1.6, 1.7, 2.3】
チコリ	30.0	5			30.0	アメリカ	【米国のレタス、リーフレタス、セロリ及びびほうれんそうのデータを参照】 <0.05, 1.18
エンダイブ	30.0	5	○		30.0	アメリカ	【米国のレタス、リーフレタス、セロリ及びびほうれんそうのデータを参照】
しゅんぎく	30.0	5			30.0	アメリカ	【米国のレタス、リーフレタス、セロリ及びびほうれんそうのデータを参照】 1.52, 2.94, 2.4, 2.5
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む)	30.0	5	○		30.0	アメリカ	【2.49, 3.30, 3.43, 3.77, 2.43, 4.70, 3.39, 2.12(レタス) 6.1, 3.4, 4.4, 10.0, 8.2, 4.9, 13.5, 2.7(非結球レタス)】 2.2, 1.6(葉ごぼう) 0.86(ホトケノザ) 0.36(ゴギョウ)
その他のきく科野菜	50	5			50	アメリカ	【米国のバジルのデータを参照】
たまねぎ	0.1	0.1	○		0.05	EU	0.02(#), <0.01(#) 【0.55, 0.20, 0.45, 0.30, <0.01, 0.14, 0.28, 0.06】 0.96, 0.20(根深ねぎ) 1.42, 1.20(葉ねぎ)
ねぎ(リーキを含む)	7.5	5	○		7.5	アメリカ	【5.5, 1.4/1.2, 1.4, 2.3, 0.58/0.96, 1.9, 2.0, 0.19】
にんにく	0.1	0.1	○		0.05	EU	<0.01, <0.01
にら	5	5	○		3	EU	1.10, 2.42
アスパラガス	2	5	○		0.05	EU	0.83(\$), 0.13
わけぎ	1	5	○		0.05	EU	0.1, 0.4(\$)
その他のゆり科野菜	50	5	○		50	アメリカ	0.02, 0.02(らっきょう) 【米国のバジルのデータを参照】
にんじん	0.5	0.1	○		0.5	アメリカ	0.02(\$), <0.01 【0.17, 0.11, 0.23, 0.02, 0.29, 0.12】
パースニップ	0.5	0.4			0.5	アメリカ	【米国のだいこん類の根、テンサイ及びびんじんのデータを参照】 0.05, 0.33 【19.7, 14.2/米国のレタス、リーフレタス、セロリ及びびほうれんそうのデータを参照】 2.2】
パセリ	50.0	5	○		50.0	アメリカ	1.6, 1.7
セロリ	30.0	5	○		30.0	アメリカ	0.7, 0.8(せり)
みつば	5	5	○		3	EU	【米国のバジルのデータを参照】
その他のせり科野菜	50	5	○		50	アメリカ	
トマト	1	1	○		2.0	EU	0.40(#\$), 0.09(#)
ピーマン	3	2	申		2.0	アメリカ	1.18, 1.28
なす	2	2	○		2.0	アメリカ	0.26, 0.58(\$)
その他のなす科野菜	2.0	2			2.0	アメリカ	
きゅうり(ガーキンを含む)	1	1	○		1	オーストラリア	0.20(#), 0.48(#\$) 【0.08, 0.06, 0.05, 0.04, 0.09, 0.07, 0.04】 0.3(#), 0.3(#)(かぼちゃ) 0.2, 0.2(ズッキーニ) 【0.08, 0.10, 0.05, 0.05, 0.11】
かぼちゃ(スカッシュを含む)	1	1	○		1	オーストラリア	
しろり	1	1	○		1	オーストラリア	
すいか	1	1	○		1	オーストラリア	0.01, <0.01 <0.01, <0.01
メロン類果実	1	1	○		1	オーストラリア	【0.17, 0.14, 0.10, 0.19, 0.25, 0.1(カンタローブ)】
まくわうり	1	1	○		1	オーストラリア	
その他のうり科野菜	1	1	○		1	オーストラリア	

農産物名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績 ppm	
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm		
ほうれん草 たけのこ オクラ しょうが	30.0 3 0.03	5 0.05 1 0.04	申		30.0 0.05 2.0 0.03	アメリカ EU アメリカ アメリカ	【2.28, 18.5, 8.25, 2.81, 23.0, 13.6, 13.6, 12.5/16, 6.2, 10.1, 9.6/14, 5.0, 7.7, 12.0】 1.22, 1.06 【米国のじゃがいものデータを参照】 【米国の未成熟豆類のデータを参照】
未成熟えんどう 未成熟いんげん えだまめ	3.0 3.0 3.0	2 2 2	申		3.0 3.0 3.0	アメリカ アメリカ アメリカ	【米国の未成熟豆類のデータを参照】 【米国の未成熟豆類のデータを参照】 【米国の未成熟豆類のデータを参照】
マッシュルーム しいたけ その他のきのこ類		0.05 0.05 0.05			0.05 0.05 0.05	EU EU EU	
その他の野菜	50	5			50	アメリカ	【米国のバジルのデータを参照】
みかん なつみかん なつみかんの外果皮 なつみかんの果実全体 レモン	1.0 1.0 1.0 1.0	1 1 1 1			1.0 1.0 1.0 1.0	アメリカ アメリカ アメリカ アメリカ	【米国のレモンとグレープフルーツのデータを参照】 【米国のレモンとグレープフルーツのデータを参照】 【0.69, 0.61, 0.58/0.42, 0.47, 0.28】 【0.44, 0.28, 0.83, 0.56/0.23, 0.35, 1.05, 0.72 /米国のレモンとグレープフルーツのデータを参照】 【0.18, 0.29, 0.18, 0.18/0.24, 0.24, 0.37】 【米国のレモンとグレープフルーツのデータを参照】 【米国のレモンとグレープフルーツのデータを参照】
オレンジ(ネーブルオレンジを含む) グレープフルーツ ライム その他のかんきつ類果実	1.0 1.0 1.0 1.0	1 1 1 10			1.0 1.0 1.0 1.0	アメリカ アメリカ アメリカ アメリカ	
りんご 日本なし 西洋なし マルメロ びわ	2 2 2 0.1	2 2 2 0.1	○ ○ ○ ○		0.05 0.05 0.05 2	EU EU EU アメリカ	0.98(#), 0.14(#) 0.60, 0.36, 0.68, 0.35 0.017(\$), 0.008
もも ネクタリン あんず(アブリコットを含む) すもも(プルーンを含む) うめ おうとう(チェリーを含む)	1.5 3 1.5 1.5 1.5 3	1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 5	○ 申 ○ ○ ○ ○		1.5 1.5 1.5 1.5 0.05 1.5	アメリカ アメリカ アメリカ アメリカ EU アメリカ	<0.01, 0.01 0.5, 1.4(\$) 0.6, 0.7 1.30(\$), 0.47
いちご ラズベリー ブラックベリー ブルーベリー クランベリー ハuckleベリー その他のベリー類果実	3 5.0 5.0 3.0 0.50 3.0 5.0	5 10 10 10 10 10 10	○		10 5.0 5.0 3.0 0.50 3.0 5.0	アメリカ アメリカ アメリカ アメリカ アメリカ アメリカ アメリカ	1.20(#), 1.18(#) 【2.33, 0.69(#) 【米国のラズベリーのデータを参照】 0.918(#), 1.06(#), 0.677(#), 0.869(#) 【0.151, 0.257, 0.282, 0.181】 【米国のブルーベリーのデータを参照】 【米国のラズベリーのデータを参照】
ぶどう かき	10 1	10 1	○ ○		3 2	カナダ アメリカ	4.22(#), 1.68(#) 0.05, 0.36(\$)
バナナ キウイ パパイヤ アボカド パイナップル グアバ マンゴー パッションフルーツ なつめやし	2.0 2.0 1 0.3 1 1	2 0.1 2 2 2 2 2 2 10	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		2.0 0.05 2.0 1 0.05 2.0 0.5 2.0 0.05	アメリカ EU アメリカ オーストラリア EU アメリカ オーストラリア アメリカ EU	【0.10, 0.18, 0.10, 0.21, 0.25, 0.15 (無袋)/0.04, 0.01, 0.02, 0.05, 0.02, 0.13(袋詰)】 【0.16, 0.49】 【オーストラリアのアボカドのデータを参照】 0.03(#), 0.08(#\$) 0.4, 0.5 【0.243, 0.0686, 0.444】 0.33, 0.30

農産物名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
その他の果実	3	10	○		2.0 アメカ	0.25, 0.57(いちじく) 1.38(\$), 0.26(ピタヤ) 【1.66, 0.231(ライチ)】
ひまわりの種子 ごまの種子 べにばなの種子	1.0	0.05 0.05 0.5			0.05 EU 0.05 EU 1.0 アメカ	【米国のキャノーラのデータを参照】 【<0.01, <0.01, <0.01, <0.01, <0.01, <0.01, <0.01, <0.01, <0.01, <0.01, <0.01, <0.01】 【0.05/0.03/<0.01, 0.01】
綿実 なたね	0.02 1	0.03 1			0.02 アメカ 0.5 EU	
その他のオイルシード		0.04				
ぎんなん くり ペカン アーモンド くるみ その他のナッツ類	0.02 0.02 0.02 0.02 0.02 0.50	0.02 0.02 0.02 0.02 0.02 0.02			0.1 EU 0.10 EU 0.10 EU 4.0 アメカ 0.10 EU 0.50 アメカ	【<0.01, <0.01, <0.01, <0.01, <0.01】 【0.406, 0.354, 0.244(ピスタチオ)】
茶 コーヒー豆 カカオ豆 ホップ	10 0.05 20.0	10 0.02 0.02 20	○		0.1 EU 0.05 ブラジル 20.0 アメカ	4.75(\$), 2.62, 0.80, 3.46(茶) 【<0.01, <0.01, 0.16】 【12(#), 10(#), 15(#), 9.3(#)】
その他のスパイス	30	10				【6.20, 17.4, 23.3(\$)(ディル)】 5.86, 11.8(畑わさび) 0.50(#), 0.34(#)(みょうが) 1.5, 0.8(あさつき) 0.11, 0.04(シソ) 【4.81, 14.7, 4.36, 5.60, 12.2, 10.7, 21.0, 7.52, 7.19(マスタード) 46.3, 23.3, 19.3(バジル)】
その他のハーブ	50	5	申・○		50 アメカ	
牛の筋肉 豚の筋肉 その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉 牛の脂肪 豚の脂肪 その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪 牛の肝臓 豚の肝臓 その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓 牛の腎臓 豚の腎臓 その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓 牛の食用部位 豚の食用部位 その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部 位	0.01 0.01 0.01 0.03 0.010 0.03 0.3 0.3 0.3 0.07 0.06 0.07 0.07 0.010 0.07	0.02 0.02 0.02 0.03 0.04 0.03 0.01 0.09 0.1 0.05 0.03 0.05 0.04 0.02 0.04			0.01 カナダ 0.01 カナダ 0.01 カナダ 0.03 アメカ 0.010 アメカ 0.03 アメカ 0.3 カナダ 0.3 カナダ 0.3 カナダ 0.07 アメカ 0.06 カナダ 0.07 アメカ 0.07 アメカ 0.07 アメカ 0.010 アメカ 0.07 アメカ	
乳	0.01	0.008			0.006 アメカ	
鶏の筋肉 その他の家きんの筋肉 鶏の脂肪 その他の家きんの脂肪 鶏の肝臓 その他の家きんの肝臓 鶏の腎臓 その他の家きんの腎臓 鶏の食用部位 その他の家きんの食用部位 鶏の卵 その他の家きんの卵	0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01	0.05 0.05 0.05 0.05 0.05 0.05 0.05 0.05 0.05 0.05 0.05 0.05			0.01 オーストラリア 0.01 オーストラリア 0.01 オーストラリア 0.01 オーストラリア 0.01 オーストラリア 0.01 オーストラリア 0.01 オーストラリア 0.01 オーストラリア 0.01 オーストラリア 0.01 オーストラリア 0.01 オーストラリア 0.01 オーストラリア	
魚介類(さけ目魚類に限る。) 魚介類(うなぎ目魚類に限る。) 魚介類(すずき目魚類に限る。) 魚介類(その他の魚類に限る。) 魚介類(貝類に限る。) 魚介類(甲殻類に限る。) その他の魚介類		0.008 0.008 0.008 0.008 0.008 0.008 0.008				
はちみつ		0.008				

平成17年11月29日厚生労働省告示第499号において新しく設定した基準値については、網をつけて示した。
【 】で示した結果等については、海外で実施された作物残留試験成績を示した。

(別紙3)

アズキシストロビン推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$)

食品群	基準値案 (ppm)	国民平均 TMDI	高齢者 (65歳以上) TMDI	妊婦 TMDI	幼小児 (1~6歳) TMDI
米(玄米)	0.2	37.0	37.8	27.9	19.5
小麦	0.5	58.4	41.7	61.7	41.2
大麦	0.3	1.8	1.1	0.1	0.0
ライ麦	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
とうもろこし	0.05	0.1	0.0	0.1	0.2
その他の穀類	0.3	0.1	0.1	0.2	0.1
大豆	0.5	28.1	29.4	22.8	16.9
小豆類	0.50	0.7	1.4	0.1	0.3
えんどう	0.50	0.2	0.2	0.2	0.1
そら豆	0.50	0.1	0.2	0.1	0.1
らつかせい	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1
その他の豆類	0.50	0.1	0.1	0.1	0.1
ばれいしよ	0.05	1.8	1.4	2.0	1.1
さといも類(やつがしらを含む)	0.03	0.3	0.5	0.2	0.2
かんしよ	0.03	0.5	0.5	0.4	0.5
やまいも(長いも)	0.03	0.1	0.1	0.0	0.0
その他のいも類	0.03	0.0	0.0	0.0	0.0
てんさい	0.5	2.3	2.0	1.7	1.9
だいこん類(ラディッシュを含む)の根	0.5	22.5	29.3	14.4	9.4
だいこん類(ラディッシュを含む)の葉	50.0	110.0	170.0	45.0	25.0
かぶ類の根	0.5	1.3	2.1	0.4	0.4
かぶ類の葉	15	7.5	16.5	4.5	1.5
西洋わさび	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1
クレソン	3.0	0.3	0.3	0.3	0.3
はくさい	3.0	88.2	95.1	65.7	30.9
キャベツ	3.0	68.4	59.7	68.7	29.4
芽キャベツ	3.0	0.3	0.3	0.3	0.3
ケール	5	0.5	0.5	0.5	0.5
こまつな	5	21.5	29.5	8.0	10.0
きょうな	5	1.5	1.5	0.5	0.5
チンゲンサイ	5	7.0	9.5	5.0	1.5
カリフラワー	3.0	1.2	1.2	0.3	0.3
ブロッコリー	3.0	13.5	12.3	14.1	8.4
その他のあぶらな科野菜	30.0	63.0	93.0	6.0	9.0
ごぼう	0.5	2.3	2.6	1.2	0.8
サルシフィー	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1
アーティチョーク	4.0	0.4	0.4	0.4	0.4
チコリ	30.0	3.0	3.0	3.0	3.0
エンダイブ	30.0	3.0	3.0	3.0	3.0
しゅんぎく	30.0	75.0	111.0	57.0	18.0
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む)	30.0	183.0	126.0	192.0	75.0
その他のきく科野菜	50	20.0	35.0	25.0	5.0
たまねぎ	0.1	3.0	2.3	3.3	1.9
ねぎ(リーキを含む)	7.5	84.8	101.3	61.5	33.8
にんにく	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
にら	5	8.0	8.0	3.5	3.5
アスパラガス	2	1.8	1.4	0.8	0.6
わけぎ	1	0.2	0.3	0.1	0.1
その他のゆり科野菜	50	45.0	90.0	5.0	5.0
にんじん	0.5	12.3	11.2	12.6	8.2
パースニップ	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1
パセリ	50.0	5.0	5.0	5.0	5.0
セロリ	30.0	12.0	12.0	9.0	3.0
みつば	5	1.0	1.0	0.5	0.5
その他のせり科野菜	50	5.0	15.0	5.0	5.0
トマト	1	24.3	18.9	24.5	16.9
ピーマン	3	13.2	11.1	5.7	6.0
なす	2	8.0	11.4	6.6	1.8
その他のなす科野菜	2.0	0.4	0.6	0.2	0.2

食品群	基準値案 (ppm)	国民平均 TMDI	高齢者 (65歳以上) TMDI	妊婦 TMDI	幼小児 (1~6歳) TMDI
きゅうり (ガーキンを含む)	1	16.3	16.6	10.1	8.2
かぼちや (スカッシュを含む)	1	9.4	11.5	6.9	5.8
しろうり	1	0.3	0.8	0.1	0.1
すいか	1	0.1	0.1	0.1	0.1
メロン類果実	1	0.4	0.3	0.1	0.3
まくわうり	1	0.1	0.1	0.1	0.1
その他のうり科野菜	1	0.5	0.7	2.3	0.1
ほうれんそう	30.0	561.0	651.0	522.0	303.0
オクラ	3	0.9	0.9	0.6	0.6
しょうが	0.03	0.0	0.0	0.0	0.0
未成熟えんどう	3.0	1.8	1.8	2.1	0.6
未成熟いんげん	3.0	5.7	5.4	5.4	3.6
えだまめ	3.0	0.3	0.3	0.3	0.3
その他の野菜	50	630.0	610.0	480.0	485.0
みかん	1.0	41.6	42.6	45.8	35.4
なつみかんの果実全体	1.0	0.1	0.1	0.1	0.1
レモン	1.0	0.3	0.3	0.3	0.2
オレンジ (ネーブルオレンジを含む)	1.0	0.4	0.2	0.8	0.6
グレープフルーツ	1.0	1.2	0.8	2.1	0.4
ライム	1.0	0.1	0.1	0.1	0.1
その他のかんきつ類果実	1.0	0.4	0.6	0.1	0.1
りんご	2	70.6	71.2	60.0	72.4
日本なし	2	10.2	10.2	10.6	8.8
西洋なし	2	0.2	0.2	0.2	0.2
びわ	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
もも	1.5	0.8	0.2	6.0	1.1
ネクタリン	3	0.3	0.3	0.3	0.3
アンズ (アプリコットを含む)	1.5	0.2	0.2	0.2	0.2
スモモ (プルーンを含む)	1.5	0.3	0.3	2.1	0.2
うめ	1.5	1.7	2.4	2.1	0.5
おうとう (チェリーを含む)	3	0.3	0.3	0.3	0.3
いちご	3	0.9	0.3	0.3	1.2
ラズベリー	5.0	0.5	0.5	0.5	0.5
ブラックベリー	5.0	0.5	0.5	0.5	0.5
ブルーベリー	3.0	0.3	0.3	0.3	0.3
クランベリー	0.50	0.1	0.1	0.1	0.1
ハックルベリー	3.0	0.3	0.3	0.3	0.3
その他のベリー類果実	5.0	0.5	0.5	0.5	0.5
ぶどう	10	58.0	38.0	16.0	44.0
かき	1	31.4	49.6	21.5	8.0
バナナ	2.0	25.2	35.4	17.4	22.6
パパイヤ	2.0	0.2	0.2	0.2	0.2
アボカド	1	0.2	0.2	0.1	0.1
グアバ	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
マンゴー	1	0.1	0.1	0.1	0.1
パッションフルーツ	1	0.1	0.1	0.1	0.1
その他の果実	3	11.7	5.1	4.2	17.7
べにばなの種子	1.0	0.1	0.1	0.1	0.1
綿実	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
なたね	1	8.4	5.3	8.2	5.0
ぎんなん	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
くり	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
ペカン	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
アーモンド	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
クルミ	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のナッツ類	0.50	0.1	0.1	0.1	0.1
茶	10	30.0	43.0	35.0	14.0
コーヒー豆	0.05	0.1	0.1	0.1	0.0
ホップ	20.0	2.0	2.0	2.0	2.0
その他のスパイス	30	3.0	3.0	3.0	3.0
その他のハーブ	50	5.0	5.0	5.0	5.0

食品群	基準値案 (ppm)	国民平均 TMDI	高齢者 (65歳以上) TMDI	妊婦 TMDI	幼小児 (1~6歳) TMDI
陸棲哺乳類の肉類	0.3	17.3	17.5	18.2	9.9
陸棲哺乳類の乳類	0.01	1.4	1.5	1.8	2.0
家禽の肉類	0.01	0.2	0.2	0.2	0.2
家禽の卵類	0.01	0.4	0.4	0.4	0.3
計		2602.4	2846.6	2073.4	1472.2
ADI比 (%)		27.1	29.2	20.7	51.8

TMDI：理論最大1日摂取量 (Theoretical Maximum Daily Intake)

答申(案)

アゾキシストロビン

食品名	残留基準値
	ppm
米	0.2
とうもろこし	0.05
大豆	0.5
小豆類(いんげん、ささげを含む)※	0.50
えんどう	0.50
そらまめ	0.50
らつかせい	0.2
その他の豆類(注1)	0.50
ぼれいしよ	0.05
さといも類(やつがしらを含む)	0.03
かんしよ	0.03
やまいも(長いもをいう)	0.03
その他のいも類(注2)	0.03
てんさい	0.5
だいこん類(ラディッシュを含む)の根	0.5
だいこん類(ラディッシュを含む)の葉	50
かぶ類の根	0.5
かぶ類の葉	15
西洋わさび	0.5
クレソン	3.0
はくさい	3.0
キャベツ	3.0
芽キャベツ	3.0
ケール	5
こまつな	5
きょうな	5
チンゲンサイ	5
カリフラワー	3.0
ブロッコリー	3.0
その他のあぶらな科野菜(注3)	30.0
ごぼう	0.5
サルシフィー	0.5
アーティチョーク	4.0
チコリ	30.0
エンダイブ	30.0
しゅんぎく	30.0
レタス(サラダ菜及びちしやを含む)	30.0
その他のさく科野菜(注4)	50
ねぎ	7.5
にら	5
アスパラガス	2
わけぎ	1
その他のゆり科野菜(注5)	50
にんじん	0.5
パースニップ	0.5
パセリ	50.0
セロリ	30.0
みつば	5
その他のせり科野菜(注6)	50
ピーマン	3
その他のなす科野菜(注7)	2.0
ほうれんそう	30.0
オクラ	3
しょうが	0.03
未成熟えんどう	3.0
未成熟いんげん	3.0
えだまめ	3.0
その他の野菜(注8)	50

食品名	残留基準値
	ppm
みかん	1.0
なつみかんの果実全体	1.0
レモン	1.0
オレンジ(ネーブルオレンジを含む)	1.0
ライム	1.0
その他のかんきつ類果実(注9)	1.0
りんご	2
びわ	0.1
ネクタリン	3
おうとう	3
いちご	3
ラズベリー	5.0
ブラックベリー	5.0
ブルーベリー	3.0
クランベリー	0.5
ハックルベリー	3.0
その他のベリー類果実	5.0
バナナ	2.0
パパイヤ	2.0
アボカド	1
グアバ	0.3
マンゴー	1
パッションフルーツ	1
その他の果実(注10)	3
べにばなの種子	1.0
綿実	0.02
その他のナッツ類	0.50
コーヒード	0.05
ホップ	20.0
その他のスパイス(注11)	30
その他のハーブ(注12)	50
牛の筋肉	0.01
豚の筋肉	0.01
その他の陸棲哺乳類(注13)の筋肉	0.01
牛の脂肪	0.03
豚の脂肪	0.010
その他の陸棲哺乳類の脂肪	0.03
牛の肝臓	0.3
豚の肝臓	0.3
その他の陸棲哺乳類の肝臓	0.3
牛の腎臓	0.07
豚の腎臓	0.06
その他の陸棲哺乳類の腎臓	0.07
牛の食用部分	0.07
豚の食用部分	0.010
その他の陸棲哺乳類の食用部分	0.07
乳	0.01
鶏の筋肉	0.01
その他の家きん(注14)の筋肉	0.01
鶏の脂肪	0.01
その他の家きんの脂肪	0.01
鶏の肝臓	0.01
その他の家きんの肝臓	0.01
鶏の腎臓	0.01
その他の家きんの腎臓	0.01
鶏の食用部分	0.01
その他の家きんの食用部分	0.01
鶏の卵	0.01
その他の家きんの卵	0.01

- ※ いんげん、ささげ、サルタニ豆、サルタピア豆、バター豆、ペギア豆、ホワイト豆、ライマ豆及びレンズを含む。
- (注1)「その他の豆類」とは、豆類のうち、大豆、小豆類、えんどう、そら豆、らつかせい及びスパイス以外のものをいう。
- (注2)「その他のいも類」とは、いも類のうち、ばれいしよ、さといも類、かんしよ、やまいも及びこんにやくいも以外のものをいう。
- (注3)「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類の根、だいこん類の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワーブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。
- (注4)「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゆんぎく、レタス及びハーブ以外のものをいう。
- (注5)「その他のゆり科野菜」とは、ゆり科野菜のうち、たまねぎ、ねぎ、にんにく、にら、アスパラガス、わけぎ及びハーブ以外のものをいう。
- (注6)「その他のせり科野菜」とは、せり科野菜のうち、にんじん、パースニップ、パセリ、セロリ、みつば、スパイス及びハーブ以外のものをいう。
- (注7)「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。
- (注8)「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのご類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。
- (注9)「その他のかんきつ類果実」とは、かんきつ類果実のうち、みかん、なつみかん、なつみかんの外果皮、なつみかんの果実全体、レモン、オレンジ、グレープフルーツ、ライム及びスパイス以外のものをいう。
- (注10)「その他の果実」とは、果実のうち、かんきつ類果実、りんご、日本なし、西洋なし、マルメロ、びわ、もも、ネクタリン、あんず、すもも、うめ、おうとう、ベリー類果実、ぶどう、かき、バナナ、キウイー、パパイヤ、アボカド、パイナップル、グアバ、マンゴー、パッションフルーツ、なつめやし及びスパイス以外のものをいう。
- (注11)「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジの果皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。
- (注12)「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレソン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。
- (注13)「その他の陸棲哺乳類に属する動物」とは、陸棲哺乳類に属する動物のうち、牛及び豚以外のものをいう。
- (注14)「その他の家きん」とは、家きんのうち、鶏以外のものをいう。